

実りの「秋」を迎えています！

天気予報では北海道や東北地方で積雪の情報が流れるようになりました。熊本も一気に寒くなりました。それでもまだ出勤時には、「今日は半袖OR長袖？」と迷う日があります。晩秋に相応しい紅葉の情報が流れています。そんな中、稲刈りや文化的な活動が各小中学校で行われ、実りの「秋」を迎えています。

今回は、その活動の一端を紹介します。

夜のお話し会（宇土東小）

9月26日（金）午後7時より約1時間、宇土東小学校PTA図書委員会主催の「夜のお話し会」が開催



されました。東小学校で読み聞かせをされているサークル「おはなしホ～ホン」の皆さん、校長先生を含めて4名の先生も参加されました。最初に4名の先生方による読み聞かせがあり、参加した保護者や子供たちも興味津々に先生方の読み聞かせに耳を傾けていました。日頃、接する先生達とは一味違う姿に互いの距離が更に縮まったのではないかいと感じました。



その後は、フリーアナウンサーの政木ゆかさんによる「葉っぱのフレディ」の朗読がありました。音響効果を駆使しての語り掛けの朗読について引き込まれてしまいました。「さすが、プロ！」を実感し、「読書の秋」を満喫しました。

読み聞かせサークル「おはなしホ～ホン」ではボランティアを募集中です！

ボランティア養成講座「読み聞かせ」の開催

10月7日（火）に「読み聞かせ講座」を開催しました。今回は一年ぶりに熊本県社会教育課の事業である肥後っ子いきいき読書アドバイザー派遣事業を活用して吉川和子さんをアドバイザーとしてお招きしての開催となりました。

特に今回は、市立図書館と共催事業として取り組み、市立図書館の日頃の活動を紹介してもらいました。

市内の読み聞かせボランティアグループの皆さんをはじめ約40名の方々の参加がありました。

吉川アドバイザーからは、「選書の仕方」や選書の範囲を明確にするために「テーマを決めましょう」と助言がありました。また、「季節感を意識した選書も大切」と続けられました。

講話の後には、2名の参加者に読み聞かせを体験していただき、アドバイザーから具体的な助言をいただきました。その後の質疑の時間も参加者から熱心な質問があり、読み聞かせに対する意識の高さを強く感じました。



老人福祉センターへ歌声を届けよう♪



10月30日（木）に鶴城中音楽部の生徒7名が老人福祉センター利用者へ歌声を届けました。この取組も今回で3回目となり、毎回心待ちにしておられる利用者もたくさんおられます。透き通った歌声で誰もが知る3曲を披露してくれました。

生徒たちは歌詞カードまで準備して利用者へ配付する心配りがあり、利用者也歌詞カードに目をやりながら一緒に口ずさむ様子から会場に一体感が生まれたように思えました。



地域学校協働活動は、学校と地域が連携・協働して双方向で取り組む活動です。